

ENOKI

えのき



わくわく何でも体験！
牛だあ！牛だあ！牧場へ行こう

今回で三回目となる牧場体験。五月十四日(日)のどかな風景を夢見て、いざ根本牧場へ！到着後の第一声は「くさーいー」。牧場の生活です。

今回は、小学二・三・四年生の四十二名が、搾乳機あげ、ブラッシング、仔牛の授乳、バター作り、そして牛の生態などについて学びました。

牛はとてやさしくて、怖がらず、静かに接すれば、すぐ仲良しになります。触れることから毛のやわらかさ、温かさを感じます。

搾乳ができる牛はすべてお母さん牛。大きさに圧倒されてもすぐに慣れ、上手に搾れます。手のひらに乳を受け、その温かさに驚きます。お乳は体温なのです。人間のお乳も同じです。

仔牛がミルクを吸う力は生命力にあふれています。仔牛の口の中に手を入れ、その強さを感じてみます。前歯がなく、舌がザラザラしていて、唾液でネバネバ。最初は「くさい」と言っていた子どもも、口の中に手を入れるほど仲良しになりました。

バター作りは、一人ベットボトル一本ずつ。牛乳を必死で攪ること五分以上。さすがに疲れますが、できたバターをクラッカーにのせて食べた瞬間、「子どもたちの「おいしいーい」の笑顔は最高」。

牛乳は子どもを産んだ母牛からしかとれません。仔牛が飲まずに人間がいただきます。バター、チーズを作った残りが脱脂粉乳となり、それを仔牛は飲んでいきます。子どもを産めなくなった牛は食肉となります。「ここでは、そういうことを教えてくれます。

子どもたちが思いやりや感謝の気持ち、チャレンジ精神をもって成長してくれることを願い、牧場体験を実施しています。

保護者の皆さん！母乳は体温です。とときどき、お子さんを抱きしめてあげてください。

消防団のおかげで、 安心な街に!!

6月4日、若松町の総務前広場で、牛込消防団の操法大会が行われました。榎町管内では、第1分団から第4分団まであり、筆地区・若松地区とダブっているところがあります。当日は、日ごろの熱心な練習の成果が発揮されましたが、今回は、早稲田地区・鶴巻町等がメインとなる、第3分団の上田部長に原稿を寄せていただきました。



消防団の活動について

牛込第3分団 部長 上田智吉

皆さんは、「消防団と聞いて何をイメージしますか。」「町火消し」との回答が大半かと思えます。確かに火消しは「消火活動」も消防団としての重要な任務の一つです。火災現場において消防団は、消防署隊と連携を図り、消火、延焼防止などに当たります。一方、敵が火ではなく「凶」の場合もあります。大型台風の接近などに伴い、区域河川の氾濫洪水が予想される際には、長時間に渡り水位堤防等の監視を行い、火災に備えることもあります。



そして、忘れてはならないのが、「地震」ですね。消防団は、非常時緊急参集訓練、火災拡大防止訓練、応急救命救護法など、震災時の任務遂行に必要な知識・技能の習得・練成に努めています。

以上、消防団活動のごく一部を紹介させていただきましたが、更なる防災意識の向上とともに、一人でも多くの方の入団にご夢を切に希望して止みません。牛込消防団は、新入会員を募集しています。

申し込み・お問い合わせ

牛込消防団 分団長
河合 忠(三四郎魚店のご主人)
☎3268-8852
第三分団部長
上田智吉(早稲田小 PTA会長)
☎3203-7496

きれいで安心な公園の 影の裏方として!!

新宿区と言えば、大都會をイメージしますが、多くが住居地域である「榎町地区」には、多くの公園があり、区民の憩い・安らぎの場となっています。行政だけではとても対応しきれないので、「協働」の掛け声の下、区民のボランティア活動が重要となっています。今回は、「榎町地区」の「公園愛護会」と「公園サポーター」を紹介いたします。

公園愛護会は、あかぎ児童遊園(11名)、井天公園(12名)の二つがあり、園内清掃、口、児童の保護、安全確保、が主な仕事となっており、新宿区と1年単位で協定を締結しています。

榎町管内の公園サポーターは、原町公園(3名)があり、活動内容は、イ、園内・園外周清掃、ロ、適正利用誘導、ハ、花木育成とその管理、ニ、その他、となっており、用具の経費はつぎの支給などがありますが、基本的にはボランティアです。



公園愛護会・公園サポーター
お問い合わせ先
新宿区土木課
☎3209-1111

元気にラジオ体操を!!

「早寝・早起き・朝ごはん」と言う言葉がありますが、「早起き」の代表は、なんと言ってもラジオ体操でしょう。「榎町地区」では、牛込天公園と鶴巻南公園にラジオ体操会があり、ごく寒い時期の土・日に休む以外は、基本的に1年中ラジオ体操をしています。8時28分頃から20分間の体操は6時30分からラジオ体操「これがあつて、健康体操」をやるのが定番です。



二つの会ともに、会員は、40名位いて、寒い冬の時期でも10人くらい、暖かくなったこのころは、連日30名くらいのメンバーが参加しています。年に何回かは、懇親会を開催したり、ラジオ体操が終わると連れ立って散歩に取り組んだりして、会員の親睦を図ったり、健康維持に役立っています。

申し込み・お問い合わせ

井天ラジオ体操会 会長
松永 健(原町一丁目会長)
☎3200-7045



「本当は、学校でもきちんとラジオ体操に取り組んで、子どもにやって貰いたいのよね」と、鶴巻南公園のリーダーは話していました。子どもたちの健全な身体・精神の育成のためには、早起き・朝ごはんは、とても大切なことです。高齢者に限り、たまに親子でラジオ体操に参加している姿を見たり、「とても暖かい家庭なんだ」と心豊かになります。

ラジオ体操会では新入会員を募集しています。

榎地区青少年育成委員会

イラストレーターの大園久子さんが青少年育成委員会のシンボルマークをつくってくれました。

このマークのあるポスターやチラシは、青少年育成委員会からの楽しいイベントのお知らせです。必ずチェックしてね！



カレーライスを楽しむ会

みんなでホットなカレーを食べよう

- 日時……7月22日(土) 11:30~
- 会場……牛込第二中学校
- 参加費……無料
- 対象……小中学生

*申込みはいりません。
友だちもさそって参加してね！



親子で遊ぼう！

夏休み手作り教室

ビーズで作るケイタイ・ストラップ

- 日時……8月19日(土) 午後1:00~
- 会場……榎町地域センター4階ホール
- 参加費……200円(材料費)
- 対象……小学生低学年以上
- 申込み……8月12日(土)までに

榎町特別出張所に申込み
ください。



みんな集まれ！ 釣り大会

6月18日(日)、市谷フィッシングセンターで開催された釣り大会。雨天だったにもかかわらず200名以上の小中学生と保護者が参加。小学生の優勝は8Kgの鯉を釣った早稲田小学校4年の西澤彰君。中学生の優勝は二人で、牛込二中1年の井出晃彦君と片山健君でした。

反物の白生地を染めるとき、紋を入れる丸い部分に糊を置き、染め上げてから糊を落すと、そこだけが白く残ります。上絵師はこの白い部分を油紙に写し取り、下絵となる紙を描き、切り抜き、型紙を作ります。生地を染め入れる部分に型紙を貼り、染料を刷り込みます。型紙ははずしたあとは、竹製の分刷し(コンパス)と定規を使用し、部分によってはフリーハンド作業(しべ、楕円な線)を上絵師で描いていきます。

紋入れが完成するまでには幾つもの工程を要し、すべてが手作業で行われます。

●桐生さんが描いた筆のノートと道具。筆は京都の老舗から取り寄せます。

●桐生さんは先代のお父様から紋章上絵の技術を習い、以来、四十八年間この仕事を続けてきました。お父様の代から教えて、上絵の技術を教えたお弟子さんは十数人。伝統工芸の技と粋を次代に伝えていくのもまた桐生さんの仕事です。



●繊細な筆使いで美しく色を丹念に描いていく。



●昨年、歌舞役役者、中村健三郎さんが十八代目襲名披露の際に着用した袴の家紋も桐生さんの手によるものです。



●繊細な筆使いで美しく色を丹念に描いていく。

連載 伝承の技を訪ねて

第一回 家紋を描く

紋章上絵師 桐生清人氏



新宿区の地場産業である染色業。榎の町にも、祖父、親の代から染色にかかわる職業を受け継いでいる方がいます。今回は紋章上絵師の桐生清人さんの仕事場におじゃまして、伝承の技を拝見しました。

上絵師の仕事には極度の集中力と根気、繊細さが求められます。豊かな経験と高い美意識が、その技を以て斬新なデザインの家紋に新たな命を吹きこみます。

日本のどこの家にも、名字をあらわすものとして先祖より継承されてきた家の紋章(家紋)があります。和服の礼装である紋付や留袖などの着物の家紋を描いていくのが紋章上絵師の仕事です。

桐生さんは先代のお父様から紋章上絵の技術を習い、以来、四十八年間この仕事を続けてきました。お父様の代から教えて、上絵の技術を教えたお弟子さんは十数人。伝統工芸の技と粋を次代に伝えていくのもまた桐生さんの仕事です。

盆踊りとお祭



に参加しよう!

⑧牛込弁天公園	7月21日(金) ~8月9日(水)	牛込弁天町町会
⑨江戸川小学校	7月21日(金) ~8月10日(木)	築地町・水道町町会 改代町
⑩赤城神社	7月21日(金) ~8月10日(木)	赤城下町会
⑪牛込第二中学校	7月21日(金) ~8月3日(木)	喜久井町町会 早稲田南町町会
⑫天祖神社境内	7月21日(金) ~8月10日(木)	原町一丁目町会
⑬牛込仲之小学校	7月21日(金) ~8月10日(木)	薬王寺町会
⑭成城学校	7月21日(金) ~8月3日(木)	原町二・三丁目町会

E 神楽坂まつり

ゆかたでおいでよ! 神楽坂

★ほおすき市

7月26日(水)・27日(木)午後6:00~10:00

毘沙門天菩薩寺を中心に開催されます。
ゆかた姿のボランティアが神楽坂の「まち歩きの家内」をしてくれます。ゆかたの着付けもしてくれます。ほうすきは1500円です。

★希望者は毘沙門天境内まつり本部まで
(午後6:30~8:30)

★阿波おどり

7月28日(金)・29日(土) 午後7:00~9:00

夏の訪れを告げるお祭りとして、すっかりお馴染みになりました。神楽坂通りを15の連が繰り出します。

F スポーツ交流会

卓球を楽しもう!

●日 時……9月3日(日)
10月1日(日)
11月5日(日)

いずれも午前10:00~12:00

●会 場……鶴巻小学校 体育館
●参加費……100円(保険料含む)
●問合せ……TEL 3200-7045 松永

卓球をやりたい方ならどなたでも参加できます。
運動しやすい服装で、上ばきをご持参ください。
ラケットなどの用具は会場に用意しております。
主催 榎地区スポーツ交流推進委員会

G ふれあいウォークラリー

いつもは何気なく通り過ぎていく街並も、よく観察して歩くと新しい発見があります。今回はどこに行くのかな?

家族や友だちといっしょに参加してください。

●日 時……10月15日(日)
●集 合……午前8:30
榎町地域センター4F ホール
●参加費……無料
●主 催……榎地区青少年育成委員会
●申込み……9月中旬以降、榎町特別出張所まで





「別例となった新宿区側と地域住民が話を交えて本音の話し合いをする」「区長と話をしようしんじゅくパーク」。本年度第1回が6月21日午後7時から、榎町地域センターの多目的ホールで開催されました。新宿区からは中山区長、助役をはじめ12名、住民側は約50名が参加して「歴史・文化を身近に感じるまちづくり」をテーマとして話し合いがおこなわれました。

冒頭、中山区長から次のような挨拶がありました。「私はこの会合を大変楽しみにしています。住民の皆さんからの率直な意見が聞かれ、それを区政に反映して共に区政を進めていきたい。これからの課題は「少子高齢化への対応」と「まちづくり」であり、特に個性のあるまちづくりを進めるにはそのまちが持っている遺伝子を見つければ、それを育てていくことです」。

続いて針谷文化団長からの挨拶がありました。今年度は、文化財ガイドの作成、歩行者用案内板の設置、新宿御苑開園100周年行事などを進めます。当地区は著名な文化人の関連文化財が数多くあります。その一つである漱石の旧居跡、生誕の地に関連して、来年は生誕140周年記念の行事を計画しており、協働提案事業の対象と考えています。旧居跡にある漱石公園は昨年から区民プランナーによるリニューアル事業を推進中で、来年度に工事を行う予定です。

引き続き田辺特別出張所長から当該地域の歴史・文化財の概要と漱石公園リニューアル事業の報告がありました。その後、いよいよ「しんじゅくパーク」の開始です。12名の方から発言がありました。本日のテーマに関連したトークの概要は以下の通りです。



◎住民からの提案、要望 ◎区長からの回答

◎当地域は、田舎ある町名が残されており喜ばしいことである。しかし、町名や寺社の由来については知る人も少なく、表示もされていない。

◎田舎ある町名が残っているのは賛成。広報方法について十分検討する。先日杉田玄白生誕の地が矢来下にあることが他の自治体からの連絡で判り、広い意味での地域文化財のデータベース化が必要であり、準備中である。

◎木製の案内表示が見えにくくなっており子供たちの史跡めぐりに苦労した。また文化財について、地元の中学生に教えたりなど次の世代に継承していく必要があるのではないか。

◎案内表示はすぐ調査し改修する。先ず地域の大人が文化財についてよく知っていることが大事で、データベース化とその活用ができるようにしたい。また史跡めぐり地図を提供する。中学生向けには副読本の作成を検討したい。

◎文化財のガイド人が少ない。他江リタイアした元気な人を活用した、ボランティア、ガイドの養成が必要ではないか。

◎区では、文化財ガイドを養成し6月21日に4名を登録した。それとは別に広い意味での観光ボランティア、ガイドの養成を検討する。

◎本日聞いた平成17年3月発行の「歴史と文化の散歩道 歴史ある街のガイド」に英語の説明を入れたのは良かったが、肝心の目次と地図に英語の表記がない。検討された。

◎国際化を考えると大事なことでネイティブの意見をj入れるなどして見直しをする。

◆◆◆◆◆平成18年度 榎町地域センター管理運営委員会総会報告◆◆◆◆◆

平成18年度の総会は、5月18日（木）午後7時から4階多目的ホールで開催されました。

今年度の最大の議題は、指定管理者制度に基づく協定（契約）の内容及び締結でしたが、多くの委員のご賛同をいただき可決しました。また、指定管理者制度移行に伴って委員会会則、運営基準、会計規定など数多くの会則、基準等の改正も可決されました。



注1）指定管理者制度は、平成15年6月の地方自治法改正により創設された。公の施設の管理運営に関する制度です。今まで、施設の管理委託先は、新宿区が出資する法人や公共的団体などに限られていましたが、この制度の創設により民間事業者や特定非営利活動法人などの団体も含めて選考することが出来るようになりました。

新宿区は、地域センター建設の経緯を考慮し、地域コミュニケーション活動のために、地域の方が自主・自律して地域センターを運営したほうが良いと考え、指定管理者の一番の候補者は民間企業ではなく、管理運営委員会としていました。

第2分科会

地域安全関係分科会



地域安全対策の当面の目的を「子どもの安全」として活動します。「榎地区は、子どもの安全について相当意気込んでいます」ということを表明し、悪意が入り込めない雰囲気を作り上げていきます。その為、協議会が具体的な行動を起こし、行政と地区内各位に対して働きかけをします。

最重要行動目標は次の2点です。

I. スローガンの探検

次のスローガンを地域内に広げていきます。
「子どもは宝」
「安全な街は宝」
「安全な地区は、子どもの安全を守ります」
地区内の掲示板・学校・出張所・交番などに掲示してもらい、商店などの店舗にもお願いしていただきます。

II. 行政無難スニーカーの活用

設置場所を7箇所増やすこと、また、子ども連の下校時刻(午後4時前後)に子ども連と地域の方々に注意を促すメロディを流すことを行政に働きかけていきます。

第3分科会

環境美化関係分科会

5月7日(21日)の両日、早大通りで放置自転車撤去キャンペーンを実施しました。今回のキャンペーンには、鶴巻車庫・南北町会及び山吹町会とグリーンベルト鶴巻町商栄会等の協力を得て行われ、両日総数延べ95名の参加者がありました。
撤去した自転車は41台、スクーター(50cc)3台でした。このようなキャンペーンを今後も継続し、歩行者に優しい通りにしてゆきたいと思っています。



早大正門前バス停



地区協議会からの働きかけ

区役所・警察	地域の住民・商店	学校	子どもと保護者
行政の力を以て地域の安全を確保する	安全な街をつくる	保護者と協同する	自分を守る
① 榎地区の目指す「子どもの安全宣言」を支援してもらう。 ② 地区の内外に安全宣言のPフレット、横断幕、警察の広報。 ③ 協議会がまとめた「地区の要望」を支援に移してもらう。 ④ 防犯スニーカーの設置 ⑤ 安全宣言をした当初の重点的なパトロール	① 安全のための連絡場所を提供する。 「110番」 「安全パトロール」 ② ポスターなどを積極的に掲示する。 ③ 児童が携帯する「防犯ブザー」が壊れたら110番する。 ④ 商店などの方は、子どもたちに常に声を掛けてあげる。	① 子どもと保護者に対して安全指導をする。 ② 地域からの要望を聞き、地域に対して協力を要請する。	① 知らない人から声を掛けられても安全に乗らない。 ② 商店街のオジちゃん、オバちゃんに「おはようございます」でまようなどいって声を掛ける。 ③ 約束を守る(登下校の時刻交通ルールなど)

カラオケ大会

日時●7月30日(日)
午前10時～午後4時
場所●榎町地域センター4階 多目的ホール
多数の、ご来場をおまちしています。
(参加募集は締め切りました。)



人形劇「アダルナのうた」

不思議な歌を歌う魔法の鳥のおはなします。フィリピンに古くから伝わる民話をアレンジして人形劇にしたものです。

日時●8月3日(木) 午前10時45分～11時35分
場所●榎町地域センター 4階 多目的ホール
募集●未就学児(保護者)
参加費●無料
参加する方は当日10時40分までに4階多目的ホールに来てください。

榎町地域センターまつり

日時●10月29日(日)
午前10時～午後4時(予定)
会場●地域センター全館
内容●学校、登録団体などによるコーラスやダンス、舞踊の発表。防災コーナー、子ども遊びコーナー、模擬店などを予定
*詳しいことは次号でお知らせします。

地域センターからのお知らせ

夏休み手作り教室

ねこのランチョンマットとコースター、スプーン入れの3点セットと卵ポプリを作ります。作成時間は30分位です。

日時●8月4日(金) 午後1時～3時30分
場所●榎町地域センター 3階 工芸美術室
募集●小学生低学年
参加費●無料 参加する方は当日時間内に3階工芸美術室に来てください。

早稲田小ハンドベル・チームの紹介

早稲田小の保護者を中心としたハンドベル・チームが発足して1年となりました。名称は「早稲田ノエルズ」といいます。現役保護者7名、卒業生保護者5名（ノエルズ星組）の計12名が中心となって活動しています。活動は児童館、高齢者福祉センター、幼稚園などで季節の行事ごとに演奏を披露しています。定期的には、国立にある公立の特別学級で学期ごとに1～6年生の児童に、音楽授業の一環として演奏の実技指導も行っています。早稲田小では水曜日の放課後に、居場所事業として子ども達に教えたところ、とても楽しいと大反響でした。

ハンドベルの音色は、天使が羽をはばたかせて飛んでいくような、平和の音色が初心者でも奏でやすいのが特長です。先日の早稲田小体育館での歓迎会では、副校長先生、PTA会長も特別参加しました。

チームに参加したい方は、榎町地域センター 2F受付へお問い合わせください。パワフルなリーダーの山本さんをご紹介します。お待ちしております。



7月2日(日)早稲田南町ことぶき館にて、くぼたまさとさんを講師にお招きした「親子工作教室」が行われました。当日は天候不慮な中、年中から1年生までの19組の親子が参加しました。身近な材料を使って作る工作は親子のふれあいにぴったり。難しいところはママやパパに手伝ってもらいながらお子さんたちは楽しそうに作品を仕上げていました。

くぼたまさんの楽しいトークにママやパパも大爆笑！「親子でくぼたまさんの大ファン」とおっしゃる方も多く、楽しいひと時を過ごしました。

早稲田南町ことぶき館自主事業運営委員会主催
新宿HAHAhA倶楽部協力



私の名前は「おだまき」柴犬6才の女の子です。家は鶴巻町にある学生服の「フジヤ」お店に暮る小学生や中学生のアイドルです。私の一日はとても忙しいのです。朝いちばん新聞が配達されると、居間にいる家族にすぐに届けます。

PET
街の
ペット
ト



朝ごはんをすませてからはお店の番をします。宅配便がきた時はカートに乗って、配達のお手伝い。片時も荷物から目を離さず、無事に荷物が運び終わるまで番をします。

今日は広報紙の取材がきたので、少しおすましのポーズをしてあげたら、カメラマンがなかなか帰らないのでホットホット疲れてしまいました。いつものカフェテリアまでお散歩。大好物のバナナケーキでお茶しました。



「街のペット」に出てくれるワンちゃん、ネコちゃん募集！
センター事務局までご連絡ください。

体をほぐそう！ ハンド&フットマッサージ のお知らせ

日時 9月9日(土) 午後2時～午後4時
場所 早稲田南町ことぶき館

高田馬場にあるエステティック・ネイルカレッジ「ラ・パルレ」の学生さんたちに手と足のマッサージをしていただきます。所要時間はそれぞれ20分ほどです。お時間をずらしておいでいただいてもかまいません。

ことぶき館での行事ですが、年齢制限はありません。若い方も子育て中のママたちも、男性も大歓迎です！

ご注意

フットマッサージご希望の方は、すぐに着足になれるような服装でいらしてください。



主催 早稲田南町ことぶき館自主事業運営委員会
協力 新宿HAHAhA倶楽部